12.5.27.

急告!!!

（是非お讀み下さい）

我が**洋服工親會**が洋服業組合から無視されて

決然として奮起するに至つた事情の概略を茲に告白します

世上の血あり涙ある方々よ、私共は此身体一つ腕一本を以て一切をさゝへて往かねばならぬ技術員であります、

それが

參年間に二度迄、大事な〳〵生命の糧を得る工料の引下を洋服業組合から强要されたのであります、二度共に組合は引下を聽かなければ工親會を認めない、仕事は遣らないと宣言されました、三年前（大正九年）には既に一割五分を引下げられたので今度は最後に五分の引下丈で勘辨して下さいとイクラ事情を分け調停者を通じて哀願しても聽かれなかつたのであります、私共は夫迄にあの組合の決議で敲かれ決議の理由で打たれ然も誣ゐられ欺かれても怺へ〳〵て來たのであります、組合では

洋服の高いのが　一に工料の爲であるかの如く申されて居るさうでありますが夫は大間違であります、論より

ります、そして苟且めにも百四十幾人が一大集團をなして居る

我が工親會其者が全く無價値沒人格の者と視られ公けに侮辱を加へられても忍ばねばならぬのであります、

私共はこらへ〳〵て最後迄讓歩しやうとして來ました、そして組合に對してあの

不穩當極まる所　の決議間違だらけの決議を組合の体面の爲撤回を望んで快く妥協の途を見出さうとしたのでありました、それも容れませんで敲かれ損打れ損と云ふ様な姿で苛遇されました、どうしてそんな調停條件に應せられませう、こゝに至つて全く

勘忍袋の緒が切　れました、そこで決然として奮起し

私共の

自立の途を公明な天地の間に

見出さうと思ひ立ちました

今に至つて此れ以上めゝしい繰言も申しません、たゞ兩者對抗の間において正々堂々飽迄愼重に私共の自から信ず[illegible]道を守つて來[illegible]自覺[illegible]ます、今後と雖も私

廣島洋服工親會

田中町鶴見橋通	小早川正一
田中町鶴見橋通	藤井熊吉
平塚町	桑原留藏
中町○	菅波勉
中町○	甲田俊三
中町	佐久間德太郎
水主町	武藤喜代藏
水主町	中川藤太郎
水主町	武田守惠
天神町●	中川藤治郎
天神町	小内山吉太郎
天神町新橋通り	後藤武登
（天神町小幡自轉車店）	佐々木實六
大手町八丁目	矢野岩夫
大手町七丁目	中井達三郎
鹼町	下石重男
大手町五丁目	友田多市
西引御堂町八	堀佐忠助
河原町一三二	坂口弘
猿樂町	國廣靜馬
廣瀨新市	佐々木勇夫
鷹匠町電車通角	龜井繁一
（佐伯郡五日市町一四六）	寺川要

鐵砲町中組八九	美濃久太
比治山町	加藤元一
基町	野村太
西新町	朝見龜治郎
袋町學校前筋	三原豊
尾道町新橋通り	伊井清
西魚屋町	吉川久吉
下柳町	山口熊太郎
上流川町七一	大利嘉六
皆實町光圓寺横	益原常一
西地方町	岩田興一
	堀尾頼一
公會堂四軒上	利知米造
中島新町一八	前田榮吉
（中島新町木挽町筋）	中野寛治
材木町	上野四郎
廣島驛前電車通	桑原俊雄
南竹屋町	森雅太郎
水主町○	芹澤榮三郎
竹屋町流川通	佐々木弘治
松川町七八	竹内武夫
（土橋電車停留所前）	河崎清治
小網町三光寺筋	松村壽夫

小網町	伊藤臣規
宇品御幸橋東詰	吉田正一
宇品町十七	高田岩雅
（宇品町八丁目一七八）	北川健太郎
天滿町南通り	西村孟一
天滿町七四	可部本勘一
西九軒町	向井幸一
西九軒町	島村良造
（鹽屋町停留所西一丁）○	石原信三郎
研屋町	柴田修平
研屋町	秋山福太郎
千田町電鐵前	川井正忠
千田町電鐵前	宮本福松
（新川場一中裏門前）○	伊藤伊三郎
（新川場一中裏門前）○	劉田峯次郎
新川場橋通り	田中兼吉
（小町一中表門前筋）	大草乙
小町湯前	守下武七
（市外三篠町字新庄）	佐伯延一
西地方町三八	武岡辰三郎
廣瀨元町○	宮下久
船入町○	白井美登
土手町派出所横○	増田智左人

（廣島、増田兄弟活版所）